

平成 27 年 5 月の熱中症による救急搬送の状況

平成 27 年 5 月の熱中症による全国の救急搬送の状況（確定値）を
取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 今年の熱中症による救急搬送人員数調査は、これまでゴールデンウィーク前後に熱中症の発生が多く見られた事をふまえて、例年の調査開始時期より 1 ヶ月前倒して、4 月 27 日から開始しています。
- 平成 27 年 5 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 2,904 人でした。5 月に入り一部の地域で夏日（最高気温 25 度以上）が観測され始め、下旬には真夏日（最高気温 30 度以上）が観測されるようになりました。5 月の 5 週目は 1,259 人の救急搬送事案が発生しています。これは急激な気温の上昇という環境の変化に体が順応できなかったことが要因の一つと考えられます。

気象庁によると、5 月の後半に引き続き、6 月も気温は高めに推移し、北陸・東北は梅雨入りが遅い見込みです。今後もさらに暑さも厳しくなり、真夏日が観測される日も見込まれていることから熱中症への更なる警戒が必要です。
- 救急搬送の状況の内訳については次の通りです。
 - 救急搬送人員数の年齢区分では高齢者（65 歳以上）が 1,354 人と最も多く、次いで成人（18 歳以上 65 歳未満）931 人、少年（7 歳以上 18 歳未満）562 人、乳幼児（生後 28 日以上 7 歳未満）57 人の順となっています。
 - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く 1,937 人、次いで中等症 863 人、重症 70 人、死亡 3 人となっています。
 - 都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数は、沖縄県が最も多く 5.82 人であり、次いで佐賀県 4.71 人、岡山県 4.58 人の順となっています。
- 熱中症を予防するには、こまめな水分補給、エアコン・扇風機を用いた室温調整及び適度な休憩をとること等が大切です。また、高齢者は暑さを自覚しにくい、喉の渇きを感じにくく、小さな子供は汗腺が未熟なため、体温調整がしにくいという特徴があるため、屋内でも熱中症に注意が必要です。

以下の HP にて、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、熱中症予防策等について紹介した「熱中症対策リーフレット」を公表しています。また、ツイッターを通じた注意喚起も行っています。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2705/pdf/270501-1.pdf>

【資料】平成 27 年 5 月の熱中症による救急搬送状況



（連絡先）

消防庁救急企画室

担当：寺谷、平井、足立

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

平成 27 年 5 月の熱中症による救急搬送状況（確定値）の概要

平成27年5月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総 数

平成 27 年 5 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 2,904 人でした。

5 月に入り一部の地域で夏日（最高気温 25 度以上）が観測され始め、下旬には真夏日（最高気温 30 度以上）が観測されるようになりました。5 月の 5 週目は 1,259 人の救急搬送事案が発生しています。これは急激な気温の上昇という環境の変化に体が順応できなかったことが要因の一つと考えられます。（資料 1、5）

また、環境省で発表する暑さ指数（WBGT）の警戒（WBGT 温度 25～28℃）を観測した全国の県庁所在地の総数が二桁に達した日には熱中症による救急搬送人員数の全国総数がおおむね 150 名を超える傾向がみられました。（資料 6）

【参考】暑さ指数（WBGT）とは

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数は（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周囲の熱環境、③気温の 3 つを取り入れた指標です。

詳しくは環境省熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>

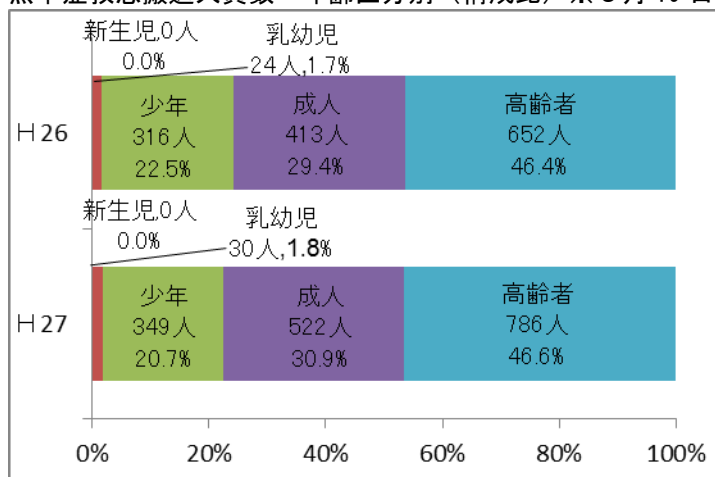
なお、平成 26 年の調査は 5 月 19 日から開始しており、今年と昨年との比較（表・グラフ）に関しては 5 月 19 日から 5 月 31 日の期間で比較しています。（資料 2、3）

2 内 訳

（1）年齢区分ごとの救急搬送人員数

高齢者（65 歳以上）が 1,354 人（46.6%）と最も多く、次いで成人（18 歳以上 65 歳未満）931 人（32.1%）、少年（7 歳以上 18 歳未満）562 人（19.4%）、乳幼児（生後 28 日以上 7 歳未満）57 人（2.0%）の順となっています。（資料 1）

熱中症救急搬送人員数 年齢区分別（構成比）※5月19日から5月31日の比較



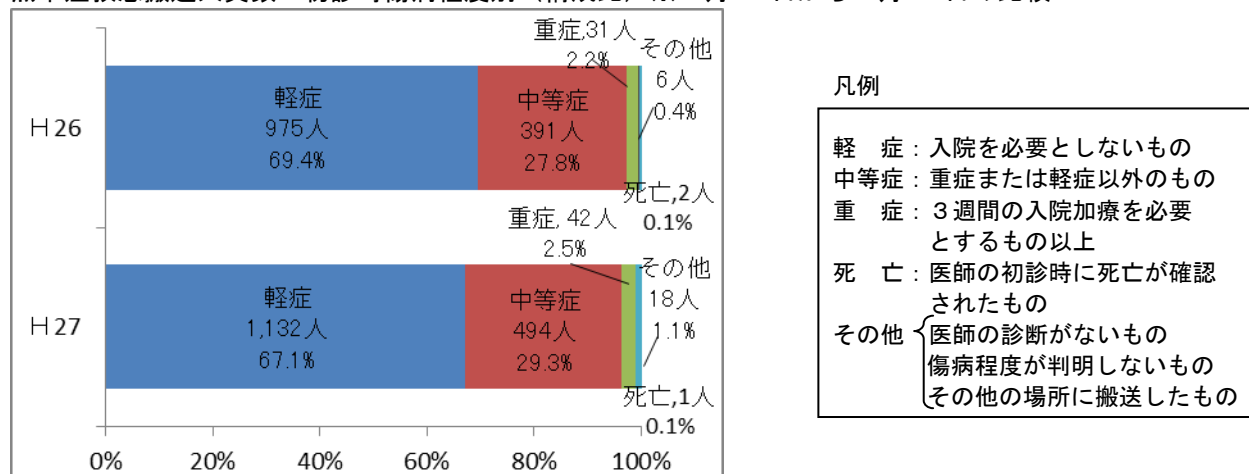
凡例

新生児：生後 28 日未満の者
乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
少年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者
成人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者
高齢者：満 65 歳以上の者

(2) 医療機関での初診時における傷病程度ごとの救急搬送人員数

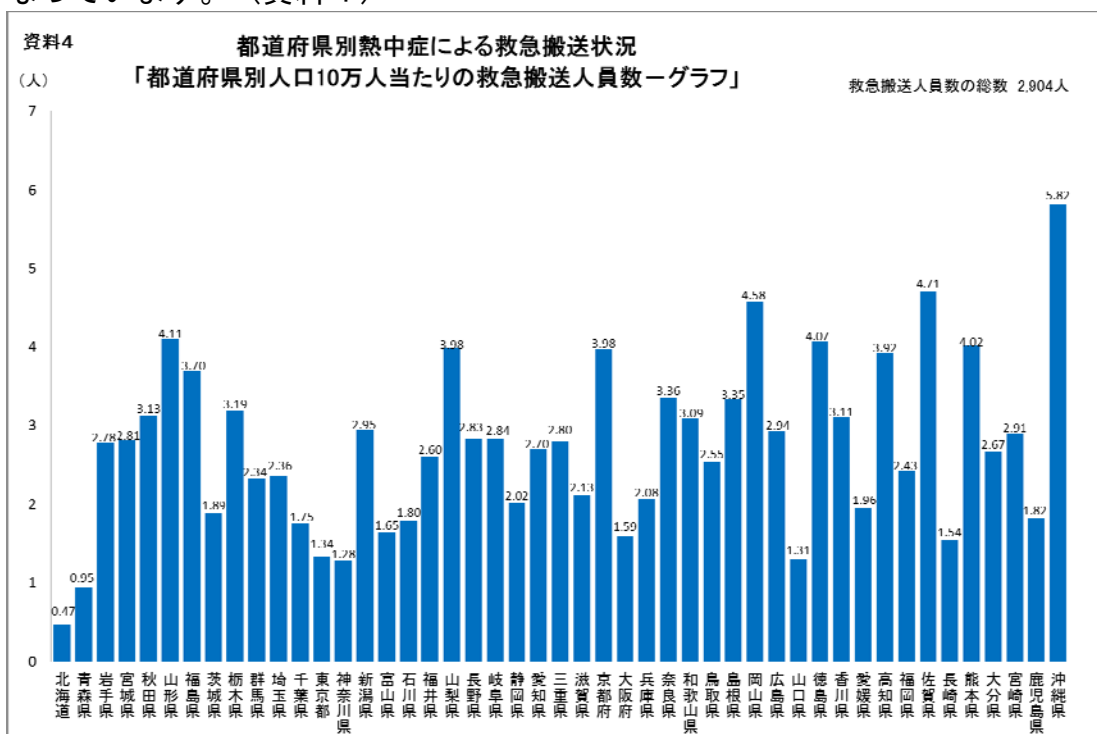
軽症が最も多く 1,937 人 (66.7%)、次いで中等症 863 人 (29.7%)、重症 70 人 (2.4%)、死亡 3 人 (0.1%) となっています。(資料 1)

熱中症救急搬送人員数 初診時傷病程度別 (構成比) ※5月19日から5月31日の比較



(3) 都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数

沖縄県が最も多く 5.82 人であり、次いで佐賀県 4.71 人、岡山県 4.58 人の順となっています。(資料 4)



3 その他

熱中症を予防するには、こまめな水分補給、エアコン・扇風機を用いた室温調整及び適度な休憩をとること等が大切です。

また、高齢者は暑さを自覚しにくい、喉の渇きを感じにくく、小さな子供は汗腺が未熟なため、体温調整がしにくいという特徴があるため、屋内でも熱中症に注意が必要です。

消防庁では、以下の HP にて、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、熱中症予防策等について紹介した「熱中症対策リーフレット」を公表しています。また、ツイッターを通じた注意喚起も行っています。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2705/pdf/270501-1.pdf>

参考（気象庁「5月の天候」より）

5月中旬に台風第6号や低気圧の影響で、全国の広い範囲で大雨となったほかは、本州付近は移動性高気圧に覆われ、北日本から西日本にかけては晴れの日が多かった。北・東日本の月間日照時間はかなり多く、1946年の統計開始以来5月としては最も日照時間が多かった。また、東日本太平洋側では降水量がかなり少なかった。

気温は、日本の北を通過する低気圧に向かって南西からの暖かい空気が流れ込んだことや本州付近では日照時間が多かったため全国的にかなり高く、北日本では平年差+2.0℃、東日本では平年差+2.1℃とともに1946年の統計開始以来5月としては最も高温となるとともに、全国154地点中55地点で5月としての月平均気温の高い記録を更新した。

平成 27 年 5 月の熱中症による救急搬送状況

- 資料 1 都道府県別熱中症による救急搬送状況
「年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数一表」
- 資料 2 都道府県別熱中症による救急搬送状況
「救急搬送人員数昨年比一表」※¹
- 資料 3 都道府県別熱中症による救急搬送状況
「救急搬送人員数昨年比一グラフ」※¹
- 資料 4 都道府県別熱中症による救急搬送状況
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数一グラフ」
- 資料 5 全国の熱中症による救急搬送状況
「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数一表」
- 資料 6 日別の救急搬送人員数（全国）と暑さ指数（WBGT）との比較一グラフ
- 資料 7 平成 22 年～27 年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧一表

※ 1 : 平成 26 年の調査は 5 月 19 日から始めたため、昨年との比較は 5 月 19 日から 5 月 31 日の期間で行っています。

資料1

都道府県別熱中症による救急搬送状況
「年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数一表」

都道府県		平成27年5月1日～5月31日											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	0	8	3	15	26	0	1	5	20	0	26
2	青森県	0	0	2	3	8	13	0	1	4	8	0	13
3	岩手県	0	0	13	6	18	37	0	0	8	29	0	37
4	宮城県	0	1	15	23	27	66	0	0	37	29	0	66
5	秋田県	0	0	8	9	17	34	0	2	10	22	0	34
6	山形県	0	0	12	11	25	48	1	5	12	28	2	48
7	福島県	0	2	18	15	40	75	0	1	12	62	0	75
8	茨城県	0	1	15	20	20	56	0	1	17	38	0	56
9	栃木県	0	3	19	23	19	64	0	2	18	44	0	64
10	群馬県	0	1	12	13	21	47	0	0	10	37	0	47
11	埼玉県	0	4	27	63	76	170	0	3	54	113	0	170
12	千葉県	0	3	18	44	44	109	0	1	38	70	0	109
13	東京都	0	6	42	69	59	176	0	7	56	113	0	176
14	神奈川県	0	2	24	43	47	116	0	4	36	76	0	116
15	新潟県	0	2	10	19	39	70	0	0	18	47	5	70
16	富山県	0	1	3	9	5	18	0	1	7	10	0	18
17	石川県	0	1	4	5	11	21	0	2	6	13	0	21
18	福井県	0	1	2	7	11	21	0	0	9	12	0	21
19	山梨県	0	0	9	10	13	32	0	2	16	14	0	32
20	長野県	0	1	9	14	37	61	1	1	23	36	0	61
21	岐阜県	0	1	6	30	22	59	0	1	17	41	0	59
22	静岡県	0	1	17	18	40	76	0	0	15	61	0	76
23	愛知県	0	8	25	65	102	200	1	2	52	145	0	200
24	三重県	0	1	4	24	23	52	0	1	9	39	3	52
25	滋賀県	0	0	4	12	14	30	0	1	5	24	0	30
26	京都府	0	0	9	33	63	105	0	4	22	79	0	105
27	大阪府	0	2	29	55	55	141	0	0	33	108	0	141
28	兵庫県	0	3	14	42	57	116	0	2	27	87	0	116
29	奈良県	0	1	8	12	26	47	0	0	13	34	0	47
30	和歌山県	0	1	7	7	16	31	0	2	10	19	0	31
31	鳥取県	0	0	3	2	10	15	0	0	6	9	0	15
32	島根県	0	0	6	8	10	24	0	0	11	12	1	24
33	岡山県	0	1	12	20	56	89	0	2	24	61	2	89
34	広島県	0	1	13	19	51	84	0	2	37	45	0	84
35	山口県	0	0	4	7	8	19	0	1	8	10	0	19
36	徳島県	0	0	2	10	20	32	0	1	10	18	3	32
37	香川県	0	0	6	12	13	31	0	2	10	18	1	31
38	愛媛県	0	0	8	7	13	28	0	0	6	22	0	28
39	高知県	0	1	4	5	20	30	0	2	5	22	1	30
40	福岡県	0	5	47	29	42	123	0	4	52	67	0	123
41	佐賀県	0	0	5	12	23	40	0	0	15	24	1	40
42	長崎県	0	0	6	8	8	22	0	1	2	19	0	22
43	熊本県	0	0	20	18	35	73	0	2	28	43	0	73
44	大分県	0	0	7	10	15	32	0	2	19	11	0	32
45	宮崎県	0	1	6	9	17	33	0	1	9	22	1	33
46	鹿児島県	0	0	2	13	16	31	0	3	10	18	0	31
47	沖縄県	0	1	18	35	27	81	0	0	12	58	11	81
合計【人】		0	57	562	931	1,354	2,904	3	70	863	1,937	31	2,904
割合		0.0%	2.0%	19.4%	32.1%	46.6%	100.0%	0.1%	2.4%	29.7%	66.7%	1.1%	100.0%

資料2

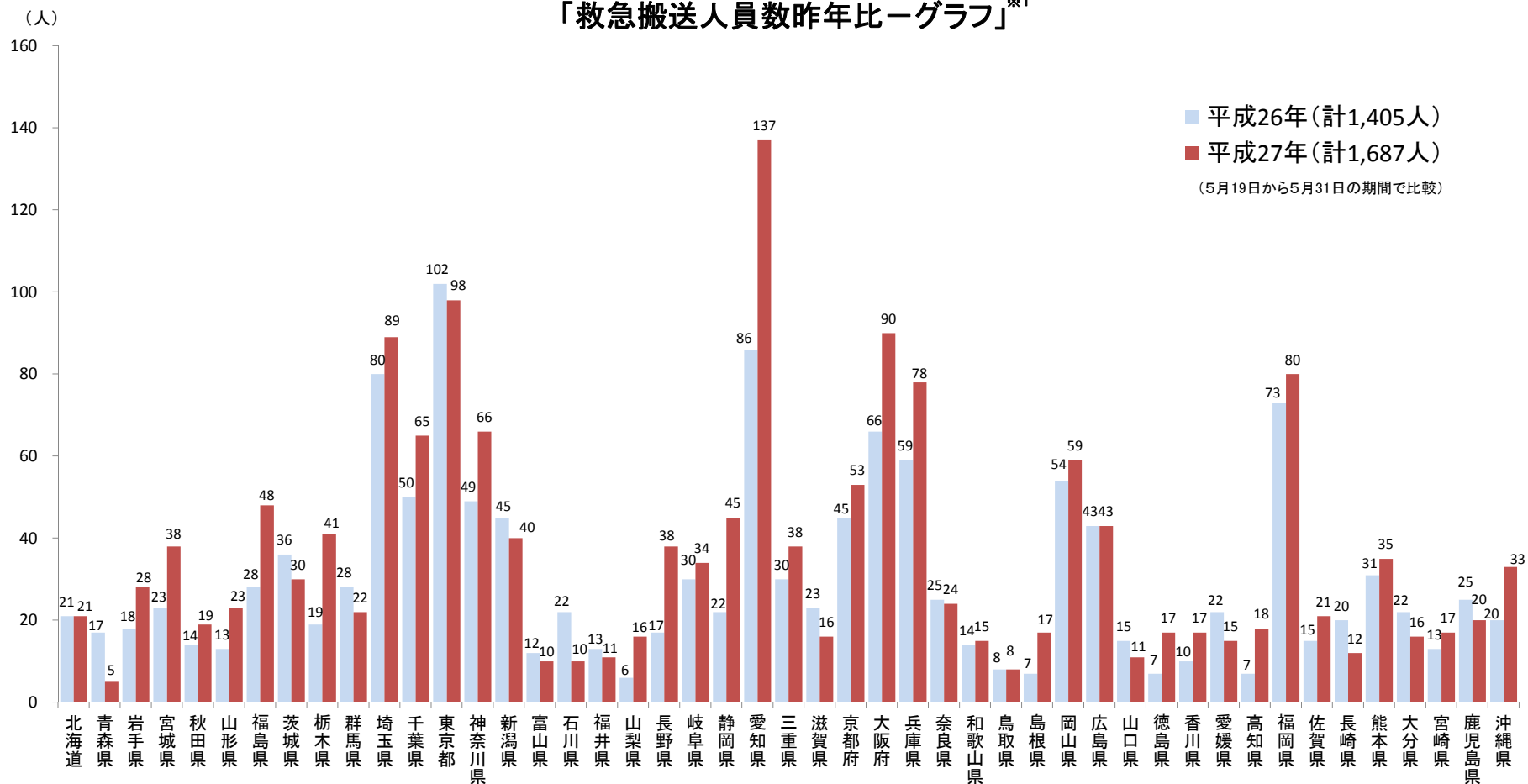
都道府県別熱中症による救急搬送状況
「救急搬送人員数昨年比一表」※1

都道府県	5月19日～5月31日				
	平成26年熱中症 救急搬送人員数 (人)	平成27年熱中症 救急搬送人員数 (人)	うち人口10万人当たりの 救急搬送人員数(人)	昨年比(倍)	
1	北海道	21	21	0.38	1.0
2	青森県	17	5	0.36	0.3
3	岩手県	18	28	2.11	1.6
4	宮城県	23	38	1.62	1.7
5	秋田県	14	19	1.75	1.4
6	山形県	13	23	1.97	1.8
7	福島県	28	48	2.37	1.7
8	茨城県	36	30	1.01	0.8
9	栃木県	19	41	2.04	2.2
10	群馬県	28	22	1.10	0.8
11	埼玉県	80	89	1.24	1.1
12	千葉県	50	65	1.05	1.3
13	東京都	102	98	0.74	1.0
14	神奈川県	49	66	0.73	1.3
15	新潟県	45	40	1.68	0.9
16	富山県	12	10	0.91	0.8
17	石川県	22	10	0.85	0.5
18	福井県	13	11	1.36	0.8
19	山梨県	6	16	1.99	2.7
20	長野県	17	38	1.77	2.2
21	岐阜県	30	34	1.63	1.1
22	静岡県	22	45	1.20	2.0
23	愛知県	86	137	1.85	1.6
24	三重県	30	38	2.05	1.3
25	滋賀県	23	16	1.13	0.7
26	京都府	45	53	2.01	1.2
27	大阪府	66	90	1.02	1.4
28	兵庫県	59	78	1.40	1.3
29	奈良県	25	24	1.71	1.0
30	和歌山県	14	15	1.50	1.1
31	鳥取県	8	8	1.36	1.0
32	島根県	7	17	2.37	2.4
33	岡山県	54	59	3.03	1.1
34	広島県	43	43	1.50	1.0
35	山口県	15	11	0.76	0.7
36	徳島県	7	17	2.16	2.4
37	香川県	10	17	1.71	1.7
38	愛媛県	22	15	1.05	0.7
39	高知県	7	18	2.35	2.6
40	福岡県	73	80	1.58	1.1
41	佐賀県	15	21	2.47	1.4
42	長崎県	20	12	0.84	0.6
43	熊本県	31	35	1.93	1.1
44	大分県	22	16	1.34	0.7
45	宮崎県	13	17	1.50	1.3
46	鹿児島県	25	20	1.17	0.8
47	沖縄県	20	33	2.37	1.7
計	1,405	1,687			

※1：平成26年の調査は5月19日から始めたため、昨年とは5月19日から5月31日の期間で比較しています。

資料3

都道府県別熱中症による救急搬送状況
「救急搬送人員数昨年比ーグラフ」※1

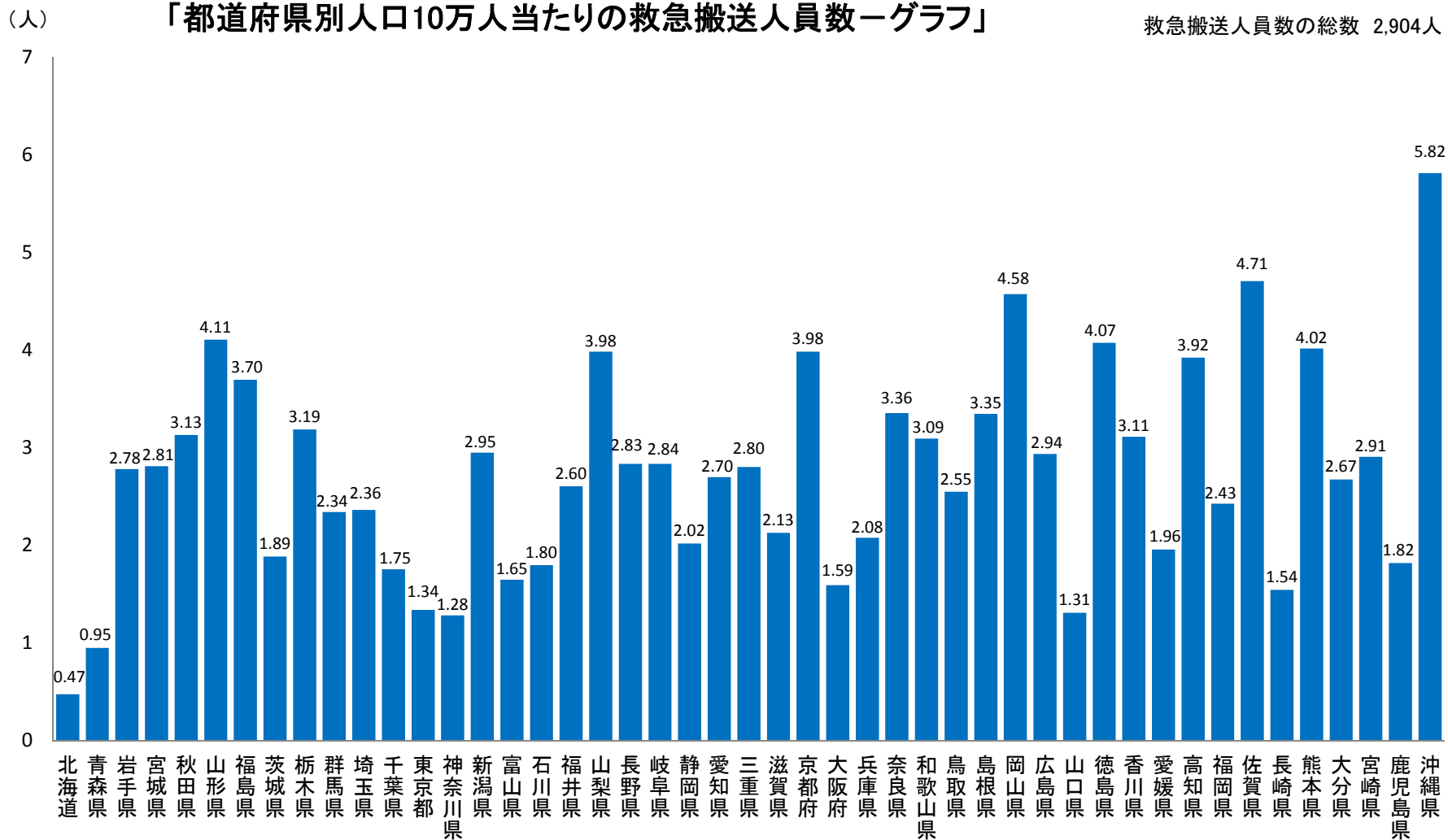


※1:平成26年の調査は5月19日から始めたため、昨年とは5月19日から5月31日の期間で比較しています。

資料4

都道府県別熱中症による救急搬送状況 「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数ーグラフ」

救急搬送人員数の総数 2,904人



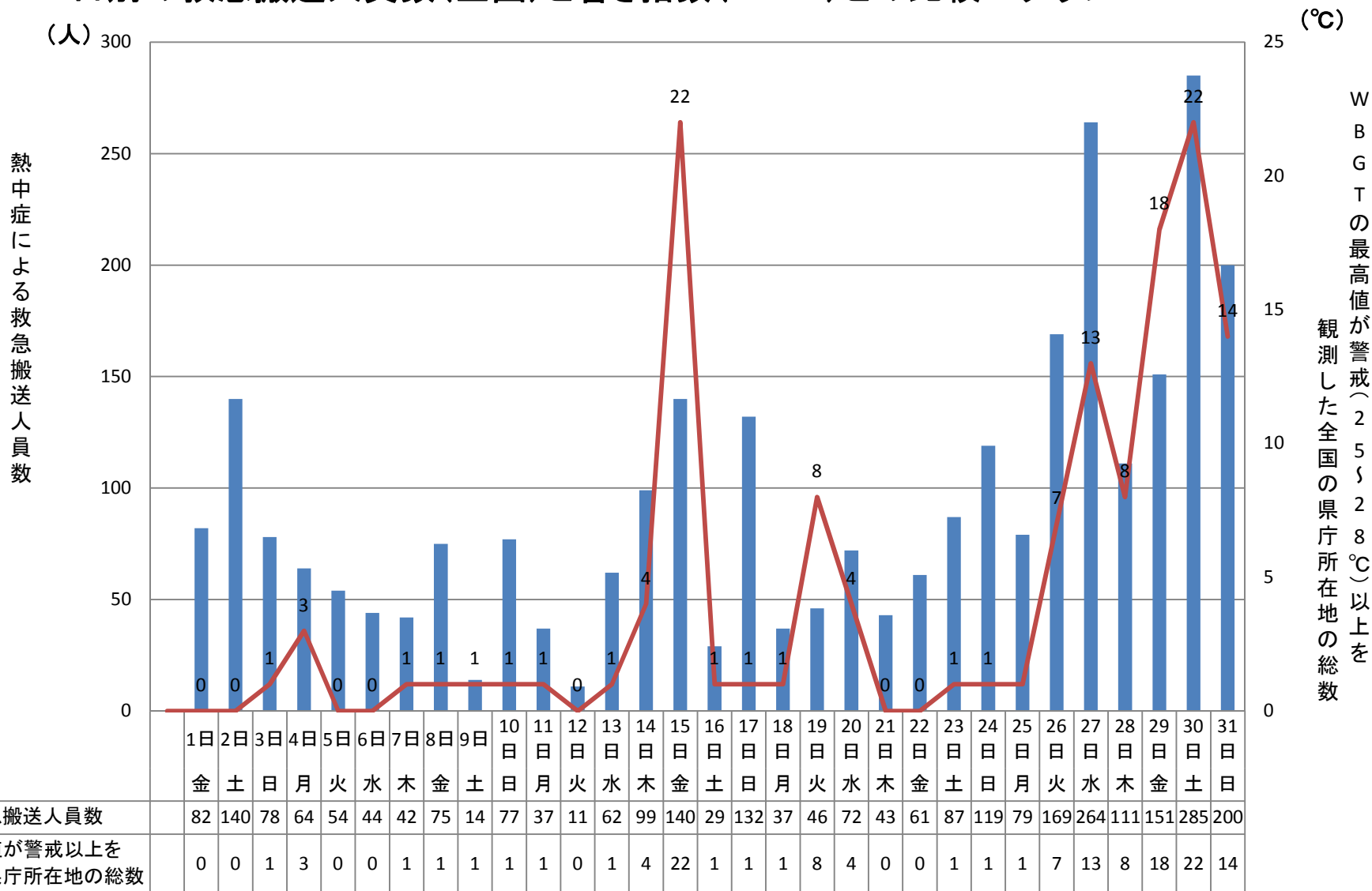
資料5

全国の熱中症による救急搬送状況

「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数一表」

日付	曜日	熱中症救急搬送人員数(人)	年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
5月1日	金	82	0	2	12	25	43	82	0	2	32	48	0	82
5月2日	土	140	0	3	37	38	62	140	0	4	35	99	2	140
5月3日	日	78	0	2	22	25	29	78	0	4	25	48	1	78
5月4日	月	64	0	1	11	25	27	64	0	2	21	41	0	64
5月5日	火	54	0	3	11	12	28	54	0	2	15	37	0	54
5月6日	水	44	0	1	3	18	22	44	0	1	15	28	0	44
5月7日	木	42	0	0	3	15	24	42	0	0	16	26	0	42
5月8日	金	75	0	4	11	23	37	75	0	0	26	49	0	75
5月9日	土	14	0	0	3	4	7	14	0	1	4	9	0	14
5月10日	日	77	0	1	18	29	29	77	0	0	24	52	1	77
5月11日	月	37	0	0	6	11	20	37	0	1	13	23	0	37
5月12日	火	11	0	0	2	3	6	11	0	1	4	6	0	11
5月13日	水	62	0	3	8	19	32	62	1	1	18	42	0	62
5月14日	木	99	0	3	10	42	44	99	0	2	29	66	2	99
5月15日	金	140	0	3	21	45	71	140	1	2	46	89	2	140
5月16日	土	29	0	0	5	12	12	29	0	0	6	23	0	29
5月17日	日	132	0	1	25	55	51	132	0	4	30	94	4	132
5月18日	月	37	0	0	5	8	24	37	0	1	10	25	1	37
5月19日	火	46	0	0	4	18	24	46	0	1	14	31	0	46
5月20日	水	72	0	0	10	17	45	72	0	2	21	48	1	72
5月21日	木	43	0	3	7	14	19	43	0	1	16	25	1	43
5月22日	金	61	0	1	8	16	36	61	0	1	19	40	1	61
5月23日	土	87	0	2	25	25	35	87	0	2	24	61	0	87
5月24日	日	119	0	2	37	38	42	119	0	4	37	77	1	119
5月25日	月	79	0	1	14	17	47	79	0	2	32	42	3	79
5月26日	火	169	0	3	36	41	89	169	0	4	57	108	0	169
5月27日	水	264	0	1	45	85	133	264	0	10	79	171	4	264
5月28日	木	111	0	2	11	52	46	111	0	1	33	77	0	111
5月29日	金	151	0	2	31	47	71	151	0	2	43	104	5	154
5月30日	土	285	0	6	77	86	116	285	1	5	71	203	2	282
5月31日	日	200	0	7	44	66	83	200	0	7	48	145	0	200
計		2,904	0	57	562	931	1,354	2,904	3	70	863	1,937	31	2,904
熱中症の救急搬送人員数に対する割合			0.0%	2.0%	19.4%	32.1%	46.6%	100.0%	0.1%	2.4%	29.7%	66.7%	1.1%	100.0%

日別の救急搬送人員数(全国)と暑さ指数(WBGT)との比較ーグラフ



資料7

平成22年～27年の熱中症による 救急搬送人員数及び死亡者数一覧一表

(単位:人)

		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)		平成22年(2010)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	2,904	3	調査データなし									
	6月	月ごとの報道発表で更新していきます。		4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14	2,276	4
	7月			18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29	17,750	95
	8月			15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27	28,448	62
	9月			1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3	7,645	10
搬送人員数合計	2,904			3	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73	56,119

※平成27年は4月27日から調査を開始

平成26年は5月19日から調査を開始